



SSH 千葉県立柏高等学校

～2020年は創立50周年～



ケンカシだより 第4号

令和元年12月13日発行

1000か所ミニ集会

令和元年11月21日(木)午後3時30分から、「学校を核とした1000か所ミニ集会」を行いました。地域住民の声を学校運営に生かす開かれた学校づくりや地域コミュニティの構築を目的として、県内の公立学校を会場に、学校職員と保護者や地域住民が学校・家庭・地域の様々な教育課題について、膝を交えて本音で語り合うというのが、「ミニ集会」の位置づけです。出席者は、開かれた学校づくり委員、地域関係者の皆様、ケンカシPTA代表、職員、生徒会代表です。

北柏駅駐輪場の方からは、「鍵をかけていない自転車が多い。」との指摘を受けました。駐在所の方から、自転車の乗り方全般について注意すべき点について、話していただきました。利根町会坂口会長さんからは、「登下校時の自転車の乗り方は格段とよくなっている。」「納涼大会での吹奏楽部の演奏、利根町会とケンカシとの合同防災訓練は続けてほしい。」との言葉を、富勢西小学校の校長先生からは、「算数教室は、本当にありがたい。ケンカシ生徒の教え方が素晴らしい。すぐに答えを示すのではなく、児童に考えさせるよう努めている。」との言葉をいただきました。ケンカシPTA代表からは、「交通安全指導等、小中学校のPTAとの連携を模索したい。」、生徒会代表からは、「地域の中で、ケンカシの中でも、皆が、ふつうにあいさつできるようになるといいと思う。」という意見が出されました。

さまざまな、貴重な意見が交わされた、本当に有意義な時間となりました。

ケンカシは、地域とともに歩む学校であること、地域の皆様のケンカシに対する愛情を再確認できたひとときでした。

富勢地域文化祭「文化展」

10月26日(土)に、富勢地域文化祭「文化展」に顔を出しました。会場は布施近隣センターで、手芸、木彫、アートフラワー、書道、俳句等の作品の展示です。ケンカシ生徒の絵画14点、写真11点、書道6点の作品が展示されていました。また、多数展示されていた、富勢中学校、富勢小学校、富勢西小学校、富勢東小学校生徒の絵画、工作、書道作品は、どれもとても素晴らしいものでした。思わず目を奪われてしまいました。



富勢地域文化祭「音楽発表会」

11月2日(土)に、富勢西小学校体育館で、「音楽発表会」が行われ、富勢西小学校、富勢東小学校、富勢小学校、富勢中学校、県立柏高等学校の順に、演奏が行われました。

富勢西小は、10名による金管合奏でした。「エル・クンバンチェロ」、「Hello Again～昔からある場所」の2曲を演奏してくれました。代表生徒のあいさつがしっかりしていました。聴いていて、魅せる音楽だと感じました。最後に、「一生懸命練習した成果を出すことができました。」と語ってくれましたが、まさにそのとおりだと感じました。

富勢東小は、18名の児童による金管合奏でした。4年生による「パプリカ」のダンスはとてかわいかったです。「草競馬」は、音楽が馬のいななきを表現しているようで、すばらしかったです。「ライジングサン」もとてもよかったです。

富勢小は、71名の児童による吹奏楽で「Lemon」、「アラジン」の2曲を演奏してくれました。71名の演奏は、ものすごい迫力です。曲を紹介する児童の話に感心しました。「もし願いがかなうのならば何を望むか」について、部員からとったアンケート結果を観衆に伝えてから「アラジン」の演奏に進みました。ほしいもの第3位は「ペット」、2位は「楽器」、そして1位が「お金」だったと思います。

富勢中学校は、吹奏楽部47名による演奏でした。「ダンシン・メガヒット」は、ダンスを交えての演奏で、会場もかなり盛り上がっていました。「情熱大陸」の出だしの部分は、体育館のはるか上に音がつきぬけていくように感じました。その後の演奏も本当に聴きごたえがありました。最後の曲「宝島」もとてもよかったです。ケンカシ生徒たちは、口をそろえて「すばらしい演奏だった。」と言っていました。これもまた、魅せる演奏だったと感じました。

ケンカシは、吹奏楽部32名による演奏でした。曲の前に、進行の方が、吹奏楽コンクールでケンカシ吹奏楽部が金賞を受賞したことを、会場に伝えてくれました。ありがとうございました。「ジャパニーズ・グラフィティ XII」(銀河鉄道999～宇宙戦艦ヤマト～銀河鉄道999)劇場版は、会場の皆様にとってはなつかしい曲だったと思います。「キセキ」は、演奏にあわせて、部員2名が歌ってくれました。「Let's go クラシック」は、クラシック13曲のメドレーでした。一度は聴いたことのある曲だったと思います。生徒が選曲を考えたようですが、工夫されていて、よかったです。

最後は、児童・生徒が前方に立ち、ケンカシ吹奏楽部の演奏にあわせて、「花は咲く」の大合唱でした。この曲は、震災復興支援ソングです。会場の皆様も大きな声で歌っていただいていたと思います。とてもよい雰囲気でした。

去年は、修学旅行の日程の関係で、ケンカシは参加できなかつただけに、今年は演奏を聴いていただくことができよかったです。近隣の小学校・中学校・高等学校の児童・生徒が演奏して、それを地域の皆様が聴いてくれるという、本当によい行事だと思います。



修学旅行

11月6日(水)～11月9日(土)の3泊4日で、沖縄への修学旅行を行いました。

10月31日に、首里城が焼失したしたのは、とても残念な出来事でした。修学旅行中に、NHKからインタビューを受けたケンカシ生徒は、「沖縄といったら首里城なので、早く再建したきれいな首里城を自分の目で見たい。」と答えていました。

1日目の平和学習で、Gammaに入りました。ガイドさんの話がすばらしかったことでもあります。生徒はとてもよく聞いていたと思います。その夜の職員打合せで、どのクラスのどの生徒も話をよく聞いてくれていたことがわかりました。また、説明を担当したガイドさんが、ケンカシ生徒の聞く姿にもものすごく感動して、「すばらしい生徒たちですね。」と、お褒めの言葉をいただきました。

2日目午後からは民泊を行いました。お世話になった沖縄の民家の多くの方と話しました。「本当にすばらしい生徒ですね。」「来年も面倒をみたい。もっと長い期間関わりたいと思えるような生徒さんたちです。」「生徒はよく話をしてくれるし、こちらの話も聞いてくれて、ありがたかった。」「気持ちよほどよく食べてくれた。」等の言葉をいただき、とてもうれしく思いました。

沖縄の史跡・自然にふれることにより、沖縄の歴史・文化をしっかりと学んでくれたと思います。平和学習を通じ、「平和」について真剣に考えてくれたと思いますし、民泊体験を通して、現地の方々とふれあい、コミュニケーションを深めることにより、思いやりの心が育まれたものと信じています。さらに、探究的な学習に絡めた普通科生徒の「タクシー研修」は、今回の修学旅行の目玉となるもので、とても充実した内容だったと感じています。学生時代に友人と寝食をともにし、集団行動を円滑に進め、友情を深めるとともに、クラスの調和を図ることのできる修学旅行という行事は、今後の学校生活、今後の人生に必ず生かされるはずで



私たち、がんばっています

【英語スピーチコンテスト県大会第3位入賞】

1年4組の西澤愛実さんが、英語スピーチコンテスト県大会 Recitation (1st Year Students)の部門で3位になりました。受賞の喜びとともに、来年度もがんばるとの、たのもしき言葉を聴くことができました。

<校長室でインタビュー>

Q 県大会までに、どれくらい練習したか？

A 週に2, 3回の割合で、30分程度の時間に集中して行った。

Q どのような練習を行ったか？

A ALTの先生とともに、一文ごとに、発音を確認しながら練習した。できるだけネイティブの人の発音を意識しながら行った。"r"と"l"の違いにも注意するよう心掛けた。

Q 3位になったことについての感想は？

A それぞれの地域で1位となった生徒が集まった大会なので、3位になることができたのはうれしいが、もっと上位になりたかったという思いもある。うれしさと悔しさが半分半分という感じ。

Q 次年度以降の抱負は？

A できれば、Speech部門に出場したい。この部門は暗唱とは異なり、自分で原稿をつくっていかなければならない。自分が何を伝えたいのかを明確にするのが大変かもしれないが、それだけにやりがいがあると思う。



【千葉県高等学校総合文化祭書道作品展第3位入賞】

2年8組の恩房由奈さんが、「第31回千葉県高等学校総合文化祭書道作品展」において、第3位となり、次年度の「全国総合文化祭2020」への出場を決めました。彼女は、中学時代は吹奏楽部だったそうですが、ケンカシに入学してから書道部に入部したとのこと。高校から始めた書道で、県で3位になることができるのは素晴らしいことだと思います。

「書道の魅力」を彼女に尋ねると、「文字の空間とバランス」と答えてくれました。書道部顧問に「彼女の書の魅力」を尋ねると、「筆遣いのすばらしさ」とのことです。理数科なので、課題研究の合間で時間を確保し、全国大会に出品する作品を書き上げることになります。「ぜひとも、何かしらの賞はとりたい。」と語ってくれました。期待したいと思います。



【優秀選手選出】

ケンカシの野球部は、現在、関宿高校と合同チームを組んでいます。第24回柏地区高等学校大会において、第3位になりました。2年7組の林海斗くんが、この大会の「優秀選手」に選出されました。

＜校長室でインタビュー＞

Q 合同チームが3位になったことについての感想は？

A うれしい。しかし、もっと、上位になることも可能だったので、次の大会では頑張りたい。

Q 優秀選手に選出された感想は？

A 3位決定戦の試合が評価されたのだと思う。ピッチャーとして5回を無失点で抑えることができた。

Q 野球部の活動で、日常に活かされていると思うことは？

A あいさつや礼儀はしっかりしようと考えている。新入部員に多く入ってもらい、単独チームで活動できるようになりたい。



【非行防止啓発漫画入賞】

非行防止啓発漫画に応募し、2年1組の坂本碧風さんの作品は優秀賞に、2年8組の工藤信顕くんの作品は佳作に選ばれました。柏市学校警察連絡協議会会長からの文書を見ると、応募総数が135点で、優秀賞が5点、入選が13点、佳作が12点となっています。優秀賞と入選の作品は、作品集として印刷製本され、3月上旬に配付される予定とのこと。

坂本さんの作品のテーマは「いつでもあなたを離さない」工藤君の作品のテーマは「毒物」です。実際の応募作品も見せてもらい、また、コンセプトについて尋ねると、しっかりと丁寧に説明してくれました。2人とも、「まさか自分の作品が選ばれるとは思っていなかった。」と、うれしさと驚きを感じているようです。今後は、「これまでどおり漫画部の活動は続けていくけれど、このような機会があれば積極的に応募したい。」と話してくれました。また、「漫画部の活動の楽しさをもっとアピールすることにより、部員を増やしたい。」と語ってくれました。



ケンカシホームページ

ケンカシでは、学校の様子をホームページに掲載し、日々更新することにより、情報発信に努めています。(ケンカシホームページアドレス <https://cms1.chiba-c.ed.jp/kashiwa-h/>)